

ちゅうざん広報

2月号

当院の摂食・嚥下リハビリテーション

言語聴覚士 原田 旬

ものを食べるということ
は生きていく上で必要と同
時に生きる楽しみの一つで
もありません。脳卒中、慢性
呼吸器疾患、神経あるいは
筋疾患、加齢等が原因で嚥
下障害 うまく呑み込めな
いこと）が起こると、栄養
を摂取できないだけでな
く、飲食物が気管に入って
しまい 誤嚥）、肺炎を起
こす事があります。嚥下障
害が疑われる食事中のむせ
込み、食後のガラガラ声、
発熱を繰り返す等の徴候を
見逃し誤嚥を繰り返してい
ると、肺炎が重症化してし
まいます。平成23年以降、
誤嚥性肺炎による死亡は悪
性新生物（がん）、心疾患に
次いで死因の第3位になっ
ており、今後身近な病気と
して注意していく必要があ
ります。

評価

情報収集…患者・家族への
問診、診療録など。
摂食観察…意識状態は良好
か、正しい姿勢をとれてい
るか、食事中に呼吸の乱れ
はないか、むせ込みの有無、
食事摂取量、摂取時間など。
検査…嚥下器官機能検査
「口唇 舌の運動能力や発声
持続時間」、反復唾液嚥下検
査 30秒間で唾液を最大
何回嚥下ができるか。
正常値…3回以上/30
秒）など。

機能訓練

間接嚥下訓練…口腔器官運
動（口唇の開閉、口運動、舌
の左右 上下運動）、発声発
語訓練（できるだけ長く「ア
ー」、オーイー」などの発
声、文章の音読）、口腔内の
感覚改善（凍らせた専用の
綿棒で口腔内や咽頭のマッ
サージ）など。
直接嚥下訓練…食べ物を実
際に少しずつ摂取してい
く。

食事内容、 摂食環境の調整

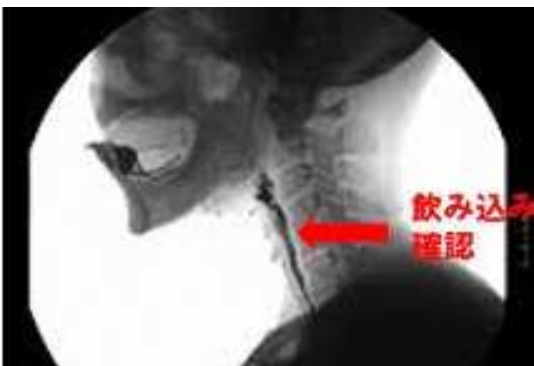
評価を踏まえながら摂取時
の姿勢・食事形態・介助方
法などを多職種間に提案し
ます。そしてお互いの専門
性を活かしながら検討し、
病棟生活へ取り入れていき
ます。

家族指導

訓練の目的や内容を説明
し、在宅で安全に食事を継
続していけるよう介助方法
などの助言を行います。

嚥下造影検査

外から見るだけでは食べ物
がどのよう喉を通過して
いるかが分からないので、
医師が必要と判断した場合
はX線の透視下で食べる検
査を行い、言語聴覚士も同
席し評価します。これによ
り安全な食事の形態や姿
勢・摂取方法を確認するこ
とができます。このように
当院ではリハビリテーショ



嚥下造影

ンによる機能回復を図る事
と並行して、食事内容等の
検討や家族指導も実施し、
退院後も食事をより安全に
摂取できるように私たち言語
聴覚士は多職種と協力し合
い日々訓練に励んでいま
す。また、入院患者様だけ

インフルエンザ

ICT委員会 工藤由美子

2月に入り沖縄県でもイン
フルエンザの流行状況につ
いて、警報が発令されまし
た。警報には、流行発生警
報と注意報の2種類があり
ます。警報レベルは大きな
流行が発生または継続しつ
つあることが疑われること
を指します。注意報レベル
は、流行の発生前であれば
今後4週間以内に大きな流
行が発生する可能性が高い
こと、流行の発生後であれ
ば流行が継続していると疑
われることを指します。警
報レベルは1週間の定点当
たり報告数がある基準値
（開始基準値）以上で開始
し、別の基準値（終息基準
値）未達で終息します。警
報レベルは1週間の定点当
たり報告数がある基準値以
上の場合です。 沖縄県感
染症情報センターのホーム
ページ参照）



ICTラウンド風景

でなく外来での“嚥下評価
”も行なっています。食事
や呑み込みについて気にな
る事がありましたら、各病棟
にしている在籍している言
語聴覚士まで気楽に声を
かけ下さい。

することや、症状が重症化
しやすいことなどからも予
防対策と発生した後の対応
が重要です。次に、インフ
ルエンザ感染予防の心得と
して「手洗い・うがい」の
衛生習慣を徹底して下さい。
主な感染経路は、感染
者のくしゃみや、咳によるし
ぶきが飛び散り、周囲の人
がそれを吸い込むことで飛
沫感染が起こります。これ
はマスクにより防ぐ事が出
来ます。また飛び散ったウ
イルスが付着している物
（手すりなど）に触れ、手洗
いをしないまま目・鼻・口
などに無意識に手をもって
いくことにより、粘膜から
ウイルスが侵入し接触感染
が起こります。よって、手
洗い・うがいを行うことで
接触・飛沫感染を予防する
事が重要となります。最後
に、インフルエンザの一番
の予防策はワクチンを接種
して免疫力をつけておくこ
となので、流行する1〜2
ヶ月前に接種する事をお勧
めします。特にインフルエ
ンザに感染すると、重症化
が高い方々のハイリスク群
（65歳以上の高齢者、妊娠
28週以降の妊婦、慢性肺
疾患 肺炎腫、気管支喘息、
肺線維症、肺結核など）、
心疾患（僧帽弁膜症・鬱血
性心不全など）、腎疾患
（慢性腎不全・血液透析患
者・腎移植患者など）、
代謝異常（糖尿病・アジソ
ン病など）、免疫不全状

ちゅうざん病院ウェブサイト
www.chuzan.or.jp
「ちゅうざん病院」で検索

医療法人ちゅうざん会
ちゅうざん病院

病院の概要
ごあいさつ
沿革
理念・基本方針
病院運営の基本
病院概要
施設概要
関連施設(リンク)
個人情報保護

広報・刊行物
ちゅうざんトピックス
会議・委員会一覧
研究業績
学会、研究会の報告
院内研究会・勉強会
院内広報
改善の取り組み